

事務事業	18	乳幼児親子の居場所づくり					
章	1	健康でおもいやりのあるまち					
大項目	02	地域とともに育む福祉社会づくり					
施策	04	子育て支援の推進					
事業内容							
目的	児童館など身近な場所で乳幼児親子が安心して集える場を提供し、保護者同士の仲間づくりやさまざまな育児情報の提供、気軽な育児相談を行うひろば事業を実施することで、保護者の育児不安や育児ストレス、孤独感の解消を図ります。						
対象・手段	乳幼児を持つ保護者を対象とし、子ども家庭支援センター、地域子育て支援センター、児童センター、こども館、児童館、民間子育て支援施設(ゆったりーの)でひろば事業を実施します。						
成果(事業が意図する成果)							
乳幼児親子の相互交流が図られるとともに、身近な施設で子育てに関する相談ができたり、情報提供が受けられることにより、乳幼児を持つ保護者の不安感や孤立感が軽減・解消します。							
事業成果指標							
指標名		定義			目標水準		
ひろばの箇所数		乳幼児親子が集える場			(平成19年度) 25か所の水準達成		
乳幼児優先スペース数		児童館内の乳幼児親子が優先的に利用できるスペース			(平成19年度) 8か所の水準達成		
					()年度に ()の水準達成		
成果の達成状況							
		単位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考
事業成果指標	目標値1	か所	0.00	25.00	25.00	25.00	
	実績1	か所	0.00	25.00	25.00	26.00	
	= /	%	0.00	100.00	100.00	104.00	
	目標値2	か所	0.00	8.00	8.00	8.00	
	実績2	か所	0.00	6.00	7.00	8.00	
	= /	%	0.00	75.00	87.50	100.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成18年度	子ども家庭支援センター(親と子のひろば)1か所、児童センター・こども館・児童館(子育てひろば)21か所(うち乳幼児優先スペース7か所)、地域子育て支援センター(ふたばひろば、原町みゆきひろば)2か所、民間子育て支援施設(ゆったりーの)1か所を実施しています。						
平成19年度	子ども家庭支援センター(親と子のひろば)1か所、児童センター・こども館・児童館(子育てひろば)21か所(うち乳幼児優先スペース8か所)、地域子育て支援センター(ふたばひろば、原町みゆきひろば)2か所、民間子育て支援施設(ゆったりーの)1か所、四谷こども園(つどいのへや)1か所を実施しています。						

部名称		子ども家庭部			課名称		子どもサービス課		
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考		
トータルコスト	事業費	千円	0	36,936	38,406	41,073			
	人件費	千円	0	7,137	8,040	7,983			
	事務費	千円	0	86	0	0			
	減価償却費等	千円	0	0	0	0			
	総計 = + + +	千円	0	44,159	46,446	49,056			
	受益者負担	千円	0	0	0	0			
	純計 = -	千円	0	44,159	46,446	49,056			
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00			
財源内訳	一般財源 = -	千円	0	20,587	22,737	33,119			
	特定財源		0	23,572	23,709	15,937			
	一般財源投入率 /	%	0.00	46.62	48.95	67.51			
職員	常勤職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00			
	非常勤職員		0.00	3.00	3.00	3.00			
事業に関する検討課題									
<p>子育てひろばを実施している子ども家庭支援センター、児童センター・こども館・児童館、地域子育て支援センター、民間子育て支援施設等とのより一層の連携の強化を図っていくことが課題です。また、区民との協働をより進めるために、子育て支援活動への積極的な区民参加を啓発していく必要があります。</p>									
評価基準に基づく評価と理由	達成度	3	子ども家庭支援センター等でひろば事業を実施しています。児童館内の乳幼児優先スペースを計画どおり1か所整備しました。また、新たに四谷こども園に「つどいのへや」を新設しました。						
	実施の成果	3	乳幼児親子の集いの場や優先スペースを区立施設や民間の子育て支援施設で提供し、また仲間づくりや育児相談により孤独感の解消を実現でき、成果をあげています。						
	効率性	3	区立施設でひろば事業を実施するほか、民間の乳児院・保育園及び区民が運営する団体に委託して事業を実施しており、効率的です。						
	行政の関与	3	乳幼児親子の居場所を確保するためには、区の既存施設の活用や施設のあり方を見直すなかで整備する必要があり、区が関与することは妥当です。						
	妥当性	2	乳幼児の親子が集える場や優先的に利用できるスペースを増やすことは、保護者同士の仲間づくりや情報交換、気軽な育児相談を行うことができ、育児の不安やストレス、孤独感を取り除くことができ妥当です。						
	施策寄与度	3	この3年間で、乳幼児親子が集える場所を26か所、児童館内で乳幼児親子が優先的に利用できるスペースを8か所設置し、乳幼児親子の交流の促進や、保護者の育児不安の解消に寄与しています。						
総合評価	19年度は、ひろばの箇所数及び乳幼児優先スペースを1所ずつ増設したため、総合評価をBとしました。						B	過年度評価	
	過去3年間の実績ではBと評価します。乳幼児親子が集える場所を26か所、児童館内で乳幼児親子が優先的に利用できる8か所設置し、保護者同士の仲間づくりや、様々な育児情報の提供、気軽な育児相談の実施に取り組んできました。これらの事業については、区民の要望も高く、子育て支援に大変有効であると評価しています。							18年度 B	17年度 B
改革方針	この事業については、第一次実行計画「12 子ども家庭支援センターの拡充」に引き継いで取り組むほか、地域子育て支援センター・民間子育て支援施設については経常事業である「地域子育て支援センターの運営」「北山伏子育て支援協働事業」で取り組んでいきます。子ども家庭支援センター機能と児童館機能を併せ持つ「子ども家庭支援センター」を21年度以降開設する際に、乳幼児親子が安心して利用できるスペースを整備します。子ども家庭支援センター、地域子育て支援センター、榎町児童センター、民間子育て支援施設等で行っている連絡会を充実させていきます。区民との協働事業による「子育て支援者養成講座」を引き続き実施し、修了者を児童館や民間子育て支援施設の子育てボランティアとして活用します。						2	方向性	
								手段改善	